天草大陶磁器展史上、最大の出展窯元数。

天草島内 参加28窯元

1 水の平焼 岡部信行

天草市本渡町本戸馬場2004
tel：0969-22-2440
創業1765年、自然の原料を調合してつくる海鼠釉（なまこゆう）の器が当窯元の特徴です。ふだん使いの器をはじめ、花器や茶道具なども制作しております。先祖代々受け継いできた手法を守り、それを現代にどう生かしていくのか、毎日が試行錯誤の繰り返しです。

2 丸尾焼 金澤一弘

天草市北原町3-10
tel：0969-23-9522
丸尾焼は1845年（弘化2年）創業の窯元です。開窯時には主に甕などを作っていましたが、現在は日常の食器を中心に仕事を進めています。今年の丸尾焼は様々な種類の作品を大陶磁器展では見ていただきたいと考えております。お楽しみ下さい。

3 浄南窯 浜田稔博

天草市太田町10-4
tel：0969-22-3513
陶芸教室の楽しい雰囲気の中から生まれてくる焼物は、親しみの持てる普段着の器です。季節や行事を楽しもうと、工夫を重ねて作る焼物は、ほのぼのとした可愛らしさで見る人の心を和ませてくれます。

4 濱平窯 江崎正博

天草市志柿町5494-1
tel：0969-23-3915
「日々のくらしの中で、眺めて、楽しめる、使ってこころ癒される風合いをもった器であれたい」と願いながら作っています。「へのかっぱ」シリーズをはじめ、いろいろな「かっぱ」の置き物をそろえています。

5 工房 樹機 井上由香里

天草市椚字上町1672-1
tel：0969-24-2833
工房も広い分、窯も増やし、やる気だけはあるのですが、体力が…？　毎年、大勢の人が見に来て下さるこのイベントは、天草での晴れ舞台。つぺこぺ言わずにガンバルのみ。

6 順能窯 松下能也

天草市南町3-54
tel：0969-23-8122
視力を失い、全盲になりての夢を絶たれ、失意の中、陶芸に出会いました。今、物を作れる喜びをかみしめながら、使い心地のいい食器と共に、海をテーマに独創性のある作品作りに取り組んでいます。

7 水の平焼 岡部祐一

天草市本渡町本戸馬場2004
tel：0969-22-2440
伝統とは、受け継ぐ事と同時に新しく創り出して行く事だと思います。自分の中からどういうかたちを引き出せるのか、頭を悩ませつつも楽しみながら、ものづくりに励んでいきたいと思います。

8 水の平焼 岡部俊郎

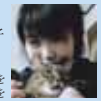
天草市本渡町本戸馬場2004
tel：0969-22-2440
良質の天草陶石を使い、染付・白磁・青白磁を作っています。どうぞゆっくりご覧下さい。

9 山の口焼 辻口康夫

天草市本渡町本渡1755-3
tel：0969-24-2072
その時々の暮らしにとけこむ“普段使い”の「モノ造り」を続けていきたい。

10 朝虹窯 余宮 隆

天草市本町下内河874-8
tel：0969-24-4946
素朴な器ですが、使っていただくとその良さがわかっていただけると思います。

11 すけ工房 福永絢子

天草市八幡町19-6
tel：090-7389-7811
猫好きがこうて、猫をモチーフとした作品を作っています。猫と私で一つ一つ心をこめて作っています。みなさんに猫のような「いやし」をとどけられたらなぁ～と思います。

12 アクセサリーコイケ 小池喜久子

天草市中央新町11-14
tel：0969-22-3865
世に名高い陶磁器は数々あれど「天草白磁」に見る“純白の美”に敵う逸品には、まず お目にかかれない。そのはかない ほど繊細な白に魅せられアクセサリーを作り始めて8年が過ぎました。毎日楽しみに待っていて下さる皆様に喜んでいただけるものを約200点を展示販売いたします。

13 苓南窯 金澤一紀

天草市北原町5-14
tel：0969-22-3393
天草市北原町で昭和55 年より信楽粘土や天草陶石を使い、現在障害者支援施設の作業の一貫として、日用陶磁器をはじめストラップ等の小物やクまでにない絵やデザインを工夫しながら日々頑張っています。ご愛望に応じてお客様のお好み・色・価格・個数等のご相談をお待ちいたしております。

14 苓山焼 森野謙一郎

天草市本町下内680
tel：0969-22-5339
昭和59年4月から陶芸作業を取り入れています。可能な限り利用者の手によってなされたものです。一般のプロ作家の作品にはおよばずませんが、精魂込めて作る姿をご想像いただき、ご愛用の程よろしくお願いします。

15 岡田 裕子

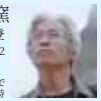
天草市佐伊津町4683
tel：0969-23-3815
ご数年で私は変ごなり、母となり、今年、また産み落とし、2人の息子の母となりました。家族のことを思うと食べ物について考えるようになりくらしについて考えるようになり、食べ物やくらしがシンプルになり、心の中もシンプルになりました。くらしの中でほっと出来る時、ほっとできる器であればいとそう思います。

16 陶丘工房 末石昌士

天草市五和町御領7005-1
tel：0969-32-2502
日々の暮らしの中で、気がつけばいつの間にか、始めて10年が過ぎました。これも、皆様方の応援があってこそと、感謝しております。これからも、皆様方に、喜んで使っていただけるような、物創りを目指して一歩づつ歩んで行きたいと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。

17 息峠窯 岡田圭史

天草市五和町御領10826
tel：0969-32-1525
轆轤ドラック５台分のビフノキを燃やしたら 17 kgの灰になった。ビフノキが長年土を食い蓄積した鉱物である。人は事をいそぎすぎるのではないだろうか、その分自然が無理をする。

18 鬼池焼 光窯 野崎秀登

天草市五和町鬼池839-2
tel：0969-32-1371
天草 下島の北端、鬼池で窯を焚いています。土の持つ味わいを大切にしながら「自化粧」を用いた技法をここ数年試行しています。お手元にとっていただき、日常の生活のゆとりで気軽に使っていただけるような飽きらない器を作りたいと思っています。また、島にある貴重な素材を活かしていきたいと思います。

19 天草白磁 陶陽泰 中本泰博

天草市天草町高浜南493-11
tel：0969-42-0545
天草の 工芸品として知られています 高浜焼の伝統の中に独自の釉薬の調合をし、新しいフォルムを追求し、新たな器づくりを模索し続けております。

20 高浜焼 寿芳窯 上田萬寿夫

天草市天草町高浜南598
tel：0969-42-1115
高浜焼はそのまま、1762年（宝暦12年）上田家6代上田伝五右衛門により天草西海岸に産出する優れた天草陶石で製造されています。近年ユニバーサル商品にも取り組み、二重構造のマグカップなども焼かれています。白色優美で透き通るような白磁の世界をご堪能下さい。

21 天草焼 小田床窯 田中光徳

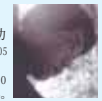
天草市天草町下田南3000-2
tel：0969-42-3419
蕾義のような華麗さはないけれど、大地と人の温かみを力いっぱい吸い込んで、野原に優しく咲く「花」のような、心温まる陶もの。

22 天草創磁 久楽窯 江浦久志

天草市天草町高浜南2904
tel：0969-42-0287
今年も また新しい作品たちとお待ちいたしておりま す。どうぞお気軽にお手にとりごらん下さい。

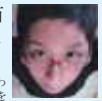
23 洋々窯 小松野洋介

上天草市大矢野町登立4058
tel：0964-56-4601
オープンして7年目を迎えました。このごろ、ほんの少し手応えのようなバクゼンとした思いを感じます。モノづくりにおいて完璧はないけど、「あーよく焼けた」というやきものをつくりつづけていきたいと思うし、やきもののやです。

24 蔵々窯 許斐良助

上天草市大矢野町維和上1005
tel：0964-58-0975
天草陶有石出会って10年が過ぎようとしている。まだまだ自分のものになっていないもどかしさを感じながら、新しい磁器の表現を追求しているのだが今年はどうなることやら…。

25 内田皿山焼 木山勝彦

天草郡苓北町都呂々1989
tel：0969-36-0005
地元、天草で採掘される天草陶石を原料に用いる苓北町で作陶しています。製品の多様さ、天草の自然や草花をモチーフにした絵付けが特長です。木山健太郎が取り組む辰砂など新しい器づくりにも挑戦しています。

26 亀山 サ苗

天草郡苓北町都呂々2384-1
tel：0969-36-0868
コンニチハ。
●呉須（絵の具）が変わりました。●新しい釉薬をつくってみました。●国立博物館の染付展で、憧れていた名品の数々と向きあってきました。●初個展を開くことができました。この夏の、ご報告です。どうぞゆっくり御覧下さい。

27 天竺窯 住田啓一郎

天草郡苓北町都呂々6121
tel：0969-36-0860
天竺窯は地域の特産品として、地域の方から注目される作品作りを進めています。

28 うつぎ窯 柏山一輝

天草市久玉町1983番地
tel：0969-72-6482
天草に窯を築いて10年になりました。天草の山々や田んぼの土を使って焼き締めの器を中心に作陶しています。5日間の窯焚きの炎をくぐって生まれてきた器たち。その素朴であたたかな雰囲気と力強さを感じていただければ幸いです。これからも、いろんな土、いろんな窯焚きの方法でもっと人の心をふるわせられる様な器を目指してまいります。

熊本県内 参加19窯元

29 やきも・の村 野村典子

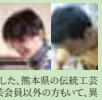
熊本市打越町31-68
tel：096-343-9986
皆様の記憶に残るような作品をつくっていきたいと思います。

30 一夢庵風流窯 上村慶次郎

八代市海士江町3555-12
tel：0965-32-4695
今回も抹茶碗にこだわっております。手にスッと入り込んでなじんでゆき、使えば使うほどに育ち変化してゆく抹茶碗、うーんこの感動を是非とも体験して頂きたいと思って作陶しています。

31 陶房 立神峡 平木孝幸

八代郡氷川町立神高山615
tel：0965-62-4150
八代郡氷川町で昭和61年に構えています。たぬきやうさぎ、時には鹿とも出会います。結構いい所です。ぜひ一度遊びに来て下さい。

32 青匠会 西島悦子・青木克裕

荒尾市平山2560-17
tel：0968-68-4817
青匠会は平成5年に発足した、熊本県の伝統工芸後継者グループです。陶芸会員以外の方もへて、異業種間の交流を深め、定期的の発表会や親子工芸教室などの活動を行っています。それらの活動を通じて「くまもとブランド」のPRができればと思っています。今回はその中の、小代焼・高田焼の会員の出展です。どうぞ宜しくお願いします。

33 小代本谷 ちひろ窯 前野智博

荒尾市川登231-74
tel：0968-68-6459
熊本県北部、小代焼の ふもとに位置する『小代本谷ちひろ窯』。平成15年には、伝統工芸品として国の認可を受け400年の伝統を持つ小代焼の「伝統工芸士」として伝統技法を守りながら、短期間の沖縄での修行で得た多様な技法を織りなすべつの皆様に愛される器作りに取り組んでいます。

34 翌檜窯（あすなろ） 上田眞弓

荒尾市増永2452-2
（荒尾市小岱作業所）
tel：0968-62-7931
翌檜窯では灰釉、焼瓷しめの製品を中心とした日常食器の他に、飾り物、置物等取りそろえています。特に「おひなさま」シリーズは、小さな製品から大きな本格的な物まで多種そろえています。どの製品も手作りの温かみの伝わるものばかりです。どうぞお手に取ってご覧下さい。

35 陶工房 リベルテ 菊池洋子

荒尾市増永2452-2
（荒尾市小岱作業所）
tel：0968-62-7931
「陶工房リベルテ」の干支作りも十二支を一巡して、また新たな十二支の始まりを迎えました。明るい話題の少ない世の中、心が少しでも和めるよう、暖かみのある製品作りを心がけていきたいと思っています。

36 竜山窯 五嶋竜也

山鹿市山鹿1588
tel：080-1750-6917
見て楽しい器。
使ってうれしい器をご用意しています。
ぜひお越し下さい。

37 ろくよう窯 古川善久

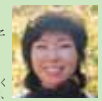
山鹿市鹿北町四丁1107
tel：0968-41-7600
今年も楽しみにしていた、天草に伺います。
独自の焼き締め方法で積み上げた新作をお持ちします。御高覧いただければ幸いです。

38 菊池 元晶窯 元田晶大

菊池市重味2175-2
tel：0968-27-1550
桃山茶陶に魅せられ陶芸を志して美濃、唐津、天草にて修行。
1991年に「菊池元晶窯」を菊池市重味に開窯。

39 有紗窯 元田翔子

菊池市重味2175-2
tel：0968-27-1550
菊池渓谷近くの工房で、桜、スミレ、アザミなど身近に咲く野の花を絵付けした作品を制作しています。日々の生活の中に、手作りの土のぬくもりと花による季節を感じてもらえる器を作っていきたいと思います。

40 禮樂窯（れいがく） 味府礼子

菊池市泗水町永3198
tel：0968-38-4349
自身の生活に、そんなにたくさんの物は必要ないけど、「なんかこれっていいよね」って。
単純である事は、無駄のない事、真面目ですねって事は、求められる事に一生懸命であること。
2回目の参加です。今年も楽しい出会いに喜びを感じるでしょう。ようこそ天草へ！

41 桜こころ窯 吉田智穂

阿蘇市西小園133
tel：090-3323-9638
こんにちは、今年も第20 故郷天草へ来れた事を嬉しく思っています。陶芸を始めた地、天草の磁器土と、生まれ育った阿蘇の自然の恵みを融合させた作品を作れたらなと取り組み始めました。まだまだ試行錯誤の日々ですが、どうぞ、見に来て下さい。お待ちしています。

42 陽 窯 髙島孝恵

阿蘇郡南阿蘇村河陽3427
tel：0967-67-2302
南阿蘇村で作陶しています。田畑でとれる作物の灰で作った釉薬を器にかけ、南阿蘇近郊の山から松の木を頂き、庭の登り窯で焼いています。少しずつですが、一年一年かわっていく焼きものの変化を楽しみに来ていただけますようこ…。

43 坂下窯 佐藤 晃

玉名郡南関町上坂下19-1
tel：0968-53-9760
普段使いの器や小さな置物など、心和ませる優しいものを作りたいと考えています。

44 田原 弓陶房 田原 弓

玉名郡南関町宮尾1768
tel：0968-53-8406
南関町の山の中で、登り窯で焼〆を、焼いております。

45 きんた工房 境 喜美代

鹿本郡植木町平野421
tel：096-272-5533
毎日の食卓に使っていただける「普段使いの器」を心がけて、楽しく作っていきたいと思います。

46 赤津焼 陶祥窯 福岡祥浩

球磨郡錦町木上北402-22
tel：0966-38-3914
赤津焼で修行を積み、球磨の地で作陶する今も、瀬戸・美濃の桃山期の焼物に惹かれ「使いたくなる器」・「使える器」作りを心がけております。

47 陶工房「庵」 小庵太志郎

八代市本野町926
tel：090-7159-3302
子供の頃から願染みのある、茶碗やお皿など陶器の温かみを感じる物は沢山あります。その土のもつ温かみを活かせるように作陶活動をやっています。

熊本県外 参加25窯元

48 平尾台 英窯 志田英男

福岡県北九州市小倉北区呼野531-1
tel：093-452-1866
野の花をモチーフにした四季の草花を描いた食器や、泥彩を施したオブジェや大皿などの作品づくりを続けています。

49 和 窯 太田富隆

福岡県朝倉郡東峰村小石原826-6
tel：0946-74-2248
小石原の特長である「飛び鉋」はもちろん、櫛目、流し掛けと技術を駆使して作品を作るが、伝統の「用と美」の精神は忘れない。だから「美術的にどんなに進化しても決してオブジェに走ることはない」
伝統を守り、守られてこそ現在があるのだから…。

50 筑前小石原焼 ㋮窯元 太田剛速

福岡県朝倉郡東峰村小石原666-3
tel：0946-74-2220
約400年続く福岡県の小石原焼は飛カンナは汁目・櫛目・流し掛けなど独特の技法が生きています。先人が伝えてくれた匠の技と用の美の心を継承しながら、また楽しい物作りの日々精進しております。一人でも多くの皆様に愛され使っていただければ幸いです。

51 小石原焼 秀山窯 里見武士

福岡県朝倉郡東峰村小石原2332
tel：0946-74-2422
筑前小石原焼。約450年の歴史と伝統を今に受け継ぎ、30軒ほどの窯元で現在に至っております。良質の陶土に恵まれ、日々、轆轤に向かい作陶に励んでおります。先代の残してくれた豊かな心を継承しながら、独自の鉄釉と調和のとれた作品作りを心がけています。日々の生活に秀山窯の器で彩りが生まれてもらえると幸いです。

52 小石原焼 ㋭窯 梶原日出

福岡県朝倉郡東峰村小石原807
tel：0946-74-2625
小石原の豊かな自然に囲まれ、伝統を受け継ぎながら、さらに自分らしさを求めた作陶に励んでおります。土の温もりを形にし、素朴な生活の器を作っています。現代の食卓に合う小石原焼。自分が使って楽しくなる小石原焼を目指しています。
是非、手に取って温もりを感じて下さい。

53 喜器窯（きき） 吉田崇昭

福岡県筑紫野市針摺中央1-13-25
tel：090-1081-6533
使い込まれた骨董のような、雰囲気のある器に憧れます。400年も前に、試行錯誤を繰り返しながら陶器器を焼いた陶工達の、自由闊達で勢いがあり、気の抜けたような柔らかな器を目指して作っています。

54 陶器 つる岡 鶴岡 誠

福岡県嘉麻市岩屋281−2
tel：0948-57-1834
福岡県嘉麻市。豊かな自然に囲まれた岸山のふもとにて、やきもの作りをしています。ふだん使いの食器をメインに、使う楽しさや心地よさを考えながら日々作陶しております。

55 陶泉房 田籠勇人

佐賀県唐津市玄玉町平原甲3390-7
tel：0955-56-2481
多くの方々に見ていただければ幸いです。

56 恂副正製陶所 副島孝信

佐賀県嬉野市嬉野町吉田皆星4115
tel：090-9470-5922
天草陶石を一番古くから使って磁器の日用食器を生産している佐賀県の嬉野市、吉田皆星から来ました。陶芸の蘊つく中堅窯業のワークショップの お手伝いから関わらせて頂いています。今年で10周年という事で本当におめでとうございます。今年も少しですが新作も交えて出展させて頂きます。

57 White Fields Porcelain 馬場真理子

佐賀県嬉野市嬉野町吉田皆星4354
tel：080-5219-0388
佐賀県嬉野市からの参加です。今年で6回目の出展になります。天草陶石の美しい白色を表現した焼物を作っています。今年も宜しくお願いします。

58 脊振陶房 石 小池 卓

佐賀県神埼市脊振町服巻4708
tel：0952-59-2971
“戦後は終わった”と言われる昭和31年に生まれ、50年以上が過ぎました。半世紀余りを生きてみると、子供の頃は、遠い昔と思っていた大半洋戦争や幕末、明治維新の頃でさえ、わりと最近の事の様に思えます。こんな事を考えながら、作陶しています。

59 六平陶房 六平

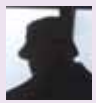
佐賀県武雄市西川登町小田志169123
tel：090-3190-0161
白磁・青白磁を中心に作陶をしております。
日々、使い易く、見ていて、心が和む器を目指しております。
一つ一つが手作りですので、お手に取られて、手に馴染むもの、使い易いものを探してみて下さい。

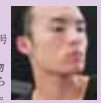
60 子の日窯 山口和利

佐賀県伊万里市立花町1717-1
tel：0955-23-2307
日々の仕事に追われながら、もう天草大陶磁器展の時期になりました。少しづつですが新しい作品も手がけております。少しモダンな粉引を手にとってご覧ください。

61 三股焼 紫麓窯 山下盛親

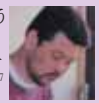
宮崎県北諸県郡三股町大字長田3608
tel：0986-52-3603
宮崎県の霧島の麓、都城盆地にある三股町の焼物屋です。「自然にそのまま」をモットーに自然に学びながら作陶しています。25年かけて研究してきた、虹色に輝く燿変虹彩釉の陶器も是非ご覧ください。

62 琴音窯 谷山 卓

長崎県長崎市戸町原町1529
tel：090-2968-6099
季節ごとの栗やイチゴ、アスパラで作った自然の釉薬の素朴な色合いの器作りをしています。自然の釉薬なので、焼き方によりひとつひとつ微妙に色が違い、その色の変化を楽しむことが出来る器たちです。

63 安田賢哉

陶山県倉敷市新田2904-1 201号
tel：090-5932-5641
普段の生活に馴染む物とは何かと考えながら日々物造りをしています。
手づくりの暖かみを感じていただけるとうれしいです。来年には天草に築炉予定なのでこれからもよろしくお願いいたします。

64 土のアトリエOWL 大串孝一

長崎県佐世保市吉岡町1863-10
tel：0956-40-5187
初めて作った作品は、パイプをくわえた河童でした。その河童の出来ばえにひどく感動し、それ以来陶人形の虜になってしまいました。土の持つ素朴さと温かさを大切にして型を使わずに一つ一つ手造りにこだわり23年間作陶に励んでまいりました。ユーモラスでひょうきんな縁起物等の和の世界を中心に創作しております。

65 みやこのじょう 太郎窯 岩崎真一

宮崎県都城市古之宇町5105-17
tel：0986-33-1230
霧島の風土にとけこむ器づくりをめざし日々、作陶しています。個展、展示会などの活動の中心です。作品は、日用雑器はもちろんのことユニークなデザインの食器にて一人一人にあった器づくりをしています。ライフワークとして、木の葉天目、油滴天目、虹彩天目の研究も続けています。

66 一ツ瀬焼窯元 古川国広

宮崎県児湯郡佐土原町下田島4271
tel：090-3414-3757
工房のまわりに多種多様なカボチャが飛びかっています。そのトンボの絵をモチーフとして陶器に絵付けをしています。

67 Sanae House 林田さなえ

佐賀県西松浦郡有田町本町西15244
tel：0955-42-6086
有田で「Sanae House」という工房をやっています。楽しくあったかい作品を陶磁器という素材を用いて使う人に届けていきたいと思い製作しています。作り手としてのいろいろな大切な事を学んだ天草で展示できるのを嬉しく思います。

68 いいね工房 藤瀬稔子

佐賀県鹿島市飯田甲4784
tel：090-1165-1945
佐賀県鹿島市の有明海のそばで夫婦2人で作陶しています。作品の特徴としては、型打ちやロクロ成形の素地に、色良須を使い、草花やお人形さん等を一筆一筆ていねいに描いています。「これ、いいね」と手に取ってもらえたら、うれしいです。

69 梵良窯 田中良幸

佐賀県伊万里市立花町1717-1
tel：090-4355-1163
私の作品は主に粉引、刷毛目、三島、藁灰釉などを施した食器や花入れを制作しております。特に藁灰釉は作品に天草陶石をふんだんに使った白化粧をした後、鉄彩を施したものが多く、釉の流れが楽しめます。シンプルで使いやすい器を考え、日々精進しております。

70 螢松窯 椿松孝弘

鹿児島県姶良郡姶良町鍋倉910-1
tel：0995-66-1749
初めて鹿児島から出展します。県内で採れる土やシラス木灰を使ったシンプルな白いうわや刷毛目の食器、霧島の源泉から採れた土石を使い「森の器」と名付けた木肌のようなテクスチュアの花器、うつわを作っています。秋の味覚・栗花と一緒に、ふだんの生活の中で楽しんで使っていただけたらと思います。

71 岩屋快山窯 梅津敏英

山口県光市室積村1629
tel：0833-78-0399
山口県光市で「塩釉」の作品を中心に作陶。釉薬を使わず、焼まし め、炉内1,250度を過ぎた窯の中に塩を投げ入れ、施釉する技法です。塩と土と温度によって様々な発色、同じ窯から取り出す作品は同じものが一個もなく、まさに一期一会の作品です。山形県出身57才。

72 暁 窯 松崎美美子

福岡県大牟田市甘木1203-190
tel：0944-58-0274
40数年に亘って陶器の仕事にたずさわってきましたが、去年70才になったのを機に白磁にトライすることにしました。初心にかえって若い作家たちから学びたいと願っています。

特別出展及び天草の伝統工芸

73 天草石匠会 角田新一

天草市五和町御領4320-2
tel：0969-32-1574
天草石匠会は「天草石工の歴史と伝統を受け継ぎながら、新しい石の匠の未来を考える」集団です。今までの伝統を継承しながら、これからの新しい石の文化をいろいろな形で切磋琢磨しながら、創造石の世界を創っていきたい と考え活動しています。

74 千葉平五郎石材 千葉友平

天草市下浦町2904
tel：0969-24-1073
みなさんお元気でしょうか？千葉友平です。最近私の中で魚釣りがマイブーム！　道具もそろえましたが大きな大物もすくえるように、大きなアミも買いましたしかし未だ一度も使った事がありません！
長さ6m30cm…大潮の ど干潮でも安心デス！

75 山富園 横山幸二

天草市下浦町3281-137
tel：0969-23-5672
自然の恵みに感謝しながら楽しんでいます。
小品盆栽、山野草、自然石を個々に、又組合わせて盆景風に仕…、コンパクトで玄関に、テーブルに窓際にと、身近に置けて楽しめ、ほっとできる癒しの空間を作りたいと思っています。

76 天草竹細工 窪地成俊

天草市本町本6241
tel：0969-23-9667
私たちの生活になくてはならなかった竹箱たち。天草竹箱には良質な真竹を用い、何度も直しながら何十年と経て、竹が持ちなすこの上ない良い アメ色に変化します。そして役目を終えた竹箱はやがて、土に還ります。江戸時代 創始者・仲衛門から受け継がれる代目、窪地成俊が編み上げる丈夫でかつ繊細な竹籠を末長く、ご愛用下さい。

77 天草手まりの会 長島ムラ子

天草市大浜町4-20
tel：0969-22-5065
この手まりは昭和54年3月に熊本県指定伝統工芸品になり数多くの賞を受賞し工芸品に展示されても高い評価を受けるまでになりました。「次の世代に残したい」という強い要望もあり文化交流館で手まり作り体験を実施中です。現在使用している糸は堅牢染リーヤーンで色があせないで長期間楽しめる色で残すことができます。

加元参窯 77

メイン会場には天草はもとより、熊本県下の窯元さらには九州各県から窯元が大集合します。その数、過去最大となる七十七軒。

地元天草の伝統工芸や石工さん達の作品が見れるのも、大陶磁器展の魅力の一つ。皆様のご来場をお待ちいたしております。